

令和7年度
(2025年度)

総合型選抜学生募集要項

横浜国立大学都市科学部

目 次

総合型選抜日程の概要	1
横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
都市科学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	3
1. 都市科学部総合型選抜とは	6
2. 募集学科、募集人員	6
3. 出願資格及び要件	6
4. 出願手続	9
5. 入学検定料	9
6. 出願書類等	11
7. 選抜日程及び試験場	13
8. 合格者発表	13
9. 入学者選抜方法及び選抜のポリシー	14
10. 入学手続	22
11. 試験当日に欠席した場合及び不合格となった場合に備えて	22
12. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談	23
13. 注意事項	24
14. 本学における個別の入学資格審査について	25
15. 個人情報の取り扱いについて	25
入学検定料 コンビニ支払方法のご案内	27
交通案内図	28
キャンパス案内図	30
学生の住居施設	31

<添付書式> ※35 ページ目以降

出願の際には、以下の様式を本学ウェブサイトよりダウンロードして印刷して使用してください。様式の印刷は、「A4 サイズ」の「白色の用紙」に「片面カラー印刷」とします。指定の方法以外で印刷した書類は一切受け付けません。

- ① 出願書類等送付内訳書
- ② 志願票・受験票・写真票
- ③ 自己推薦書・特色活動説明書・学習計画書
- ④ 履修見込証明書
- ⑤ 入学検定料「収納証明書」等貼付用紙
- ⑥ A. 出願書類等送付用ラベル
- ⑦ B. 受験票等送付用ラベル（2又は3枚）
- ⑧ C. 入学手続書類等送付用ラベル（2枚）

総合型選抜日程の概要

出願書類受付期間

令和6年(2024年)9月12日(木)～19日(木)

第1次選抜

建築学科：実技試験 令和6年(2024年)10月12日(土)
(都市社会共生学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科：書類選抜)

第1次選抜合格者発表

令和6年(2024年)10月23日(水)

第2次選抜

令和6年(2024年)11月16日(土)

建築学科

都市社会共生学科・都市基盤学科・環境リスク共生学科

最終合格者発表

令和6年(2024年)11月27日(水)

第2次選抜合格者発表

令和6年(2024年)11月27日(水)

大学入学共通テスト

令和7年(2025年)1月18日(土)～19日(日)

最終合格者発表

令和7年(2025年)2月12日(水)

入学手続受付期間

令和6年(2024年)11月28日(木)
～12月5日(木)

入学手続受付期間

令和7年(2025年)2月13日(木)～2月18日(火)

●横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【横浜国立大学（YNU）が求める学生像】

YNUは、4つの実践的「知」すなわち「知識・教養」「思考力」「コミュニケーション力」「倫理観・責任感」を身に付けた人材の育成を目指す。よって、自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語り、柔軟な発想と主体的・創造的な課題探究・解決能力を身に付け、社会のリーダーとしてグローバルな共生社会への貢献を目指す次の入学を求める。

- 入学後の修学に必要な幅広い基礎学力を備え、確かな知識や技能を身に付けたい人
- 知的好奇心や科学的探究心を持ち、新たな発見やアイデアを創造する思考力や判断力を獲得したい人
- 社会が直面する諸課題を解決するために、多様な人々と協働して主体的に社会へ参画する強い意志と責任感を持ちたい人
- 国境を超えたグローバル時代において、外国人学生と共にコミュニケーション力を高め、世界を舞台に発信・飛躍したい人
- 大学院に進学し、さらに高度の知識・技能を身に付け、高度専門職業人として社会に貢献したい人

【横浜国立大学（YNU）の入学者選抜の基本方針】

YNUの大学入学者選抜は、入学者が高等学校段階までに身に付けた力を、大学が発展・向上させ、社会に送り出す大学教育システムを前提に、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）の卒業認定・学位授与の方針（Policy1ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（Policy2カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、入学志願者に求める学力を構成する3つの要素（※）を多面的・総合的に評価するものとする。学部、学科・課程は、高等学校で履修すべき科目等をあらかじめ具体的に明示するとともに、大学入学後の教育課程プログラムとの関連を十分に踏まえつつ、次に掲げる学力検査の実施方針に基づき入試方法の多様化、評価尺度の多元化に努める。

（※）学力を構成する3つの要素

- ・ 基礎的・基本的な知識・技能
- ・ 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力
- ・ 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

横浜国立大学では、学士課程における教育目標の達成のため、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシーに加え、学士課程教育の質保証の方針（教学マネジメントPDCA・ポリシー）を含めた4つの方針について明確化し、公表しています。

<https://www.ynu.ac.jp/education/plan/initiative/>

●都市科学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【都市科学部が求める学生像】

都市を担う人間とそれを支える自然環境、社会環境、文化システムなどを対象として、文理にわたる幅広い視点から社会課題を科学的に分析・考察・実践することにより解決し、多彩な分野で活躍できる人材の育成を目指す。よって、次に示す人の入学を求める。

- 理工系と人文社会系の知識を学ぶことで文理両面やダイバーシティ（多様性）の視点、複眼的思考を身に付けたい人
- ローカル・グローバルにわたる多次元的な世界を相互理解できる広い視野をもち、横断的な課題解決能力、総合力を身に付けたい人
- 上記の視点と視野・知識・能力・技術を身に付けて、街づくり、都市文化・社会基盤構築、自然との調和で都市の未来に貢献したい人

●学科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

◎都市社会共生学科

- 1) 人文社会科学分野の知識や技能を活用し、われわれの未来にとって豊かで美しく、国際的・文化的に魅力のある都市社会の発展に寄与したい人
- 2) 歴史・文化・地域・社会に関する深い理解にもとづいて、現代社会、都市社会の多様な課題を考究し、時代や状況に応じた制度づくりや新しい芸術・文化の構想によってこれからの社会に貢献したい人
- 3) 地球的な視野を持ってダイバーシティ（多様性）がはらむ創造的な可能性、および格差や貧困などの問題を把握し、人間生活の社会の向上のための活動を国内外で行いたい人

◎建築学科

- 1) 建築の思想を中心に芸術から工学まで幅広く学び、これからの時代を担う建築を都市の中に構想できる創造的な建築家になりたい人
- 2) 自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人
- 3) 自然と調和した住空間のデザインスキルを身に付け、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人
- 4) 都市や建築の成り立ちや歴史の変遷を知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを実践できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい人
- 5) 建築や都市に関する知見を生かして、地域社会や国際社会のファシリテーションやマネジメントに積極的に関わっていきいたい人

◎都市基盤学科

- 1) 自然環境との調和や共生など地球的観点に立ってより良い都市や国土の創造に興味がある人
- 2) 地震、台風、火山、豪雨、津波などの自然災害から都市や社会を守るために、土木工学の基礎学理をリスクマネジメントに応用して、防災・減災の取り組みをしたい人
- 3) IT/ビッグデータなどの最先端技術/情報と土木工学を融合させ、社会基盤の整備、維持管

理や運用に利活用して、都市や社会生活を豊かにしたい人

- 4) 世界の政治や社会、経済状況に広く関心を持ち、社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して、国際的に活躍したい人

◎環境リスク共生学科

- 1) 複雑で多様化した環境リスクに対し、ヒトから都市、自然生態系、地球までのシステム全体を視野に入れた知識展開力を身に付けたい人
- 2) 豊かさと表裏一体で生じるリスクとバランスをとる「リスク共生」社会の実現をめざし、自然環境と社会環境のリスクを科学的に捉える数理的思考力と、ヒト・社会と対話できる社会科学的思考力を併せ持つ文理融合的素養を身に付けたい人
- 3) 都市に恵みや災いをもたらす自然システムや都市や地域に潜む環境リスクを予測・評価・分析し、リスクと共生した持続的発展に貢献できる実践力を身に付けたい人

●学ぶ分野・授与学位

都市科学は、今までの人文社会科学の領域、建築学の領域、都市基盤施設に係る領域、環境に係るリスクを学ぶ領域を、新たに都市を学ぶために再構成した学問です。

建築と都市基盤施設を学ぶだけでなく、人間とその営みを学ぶことを中心に据え、本学の文理融合の蓄積とリスク共生の強みを活かし、これらの4つの領域から構成される、今までにない学領域として都市科学を創出しました。

すなわち都市科学は、都市を担う人間と支える文化、社会を対象として、都市社会の構想と設計のために人文社会科学領域を再構成し、都市を形作る建築物及び都市基盤施設の計画や設計及び運用、維持に係る課題とともに、これらを取り巻く全ての広い意味での自然環境、社会環境を対象に、それらにまつわるリスクとの共生に係る課題を、科学的な分析を通して取り組む学問です。

◎都市社会共生学科 【授与学位：学士（学術）】

都市を担う人間と支える文化、社会を対象として、都市社会の構想と設計のために人文社会科学領域を再構成した学領域。今までの人文社会科学の伝統である「人間と社会のあり方への相対化や批判的思考」に立脚し、都市社会の構想と設計のために、理工系科目との連携及び実践的な取り組みの視点を組み入れて、既存の価値観やパラダイムを問い直し、これからの都市社会の課題に取り組む分野

◎建築学科 【授与学位：学士（工学）】

建築理論、都市環境、構造工学、建築デザインの領域から実践的かつ幅広く学ぶだけでなく、人間の営み、発想、思想に関わる人文社会科学領域との連携及び自然環境や社会環境に係るリスクを踏まえて学ぶ分野

◎都市基盤学科 【授与学位：学士（工学）】

都市を形作る基盤施設(インフラストラクチャー)に係る土木工学分野について、都市での課題を中心に防災、国際、環境などの各領域を幅広く学ぶだけでなく、人間社会の歴史や文化に関わる人文社会科学領域との連携及び自然環境や社会環境に係るリスクを踏まえて学ぶ分野

◎環境リスク共生学科 【授与学位：学士（環境学）】

リスク共生学を、建築物、都市基盤施設が形作り、人間の営みの場である都市と、それを取り巻く自然環境、社会環境との関わりで生じる様々なリスク要因を対象に適用し、解決すべきリスクを明確化、定量化、予測し、トレードオフ関係にある多様なリスクのバランスをとることで多様な価値観の合意形成をはかり、自然環境及び社会環境に係るリスク、すなわち環境リスクと共生した社会の実現に資する都市を構築する実践的な分野

※環境リスク共生学科では、教育職員免許状（中学校教諭一種（理科）/高等学校教諭一種（理科））を取得することができます。

令和7年度（2025年度）横浜国立大学都市科学部

総合型選抜学生募集要項

1. 都市科学部総合型選抜とは

横浜国立大学では、都市科学部で学び研究する事を強く望む人に対して門戸を広げるため、従来型の筆記試験を課さない、総合型選抜を実施します。

この総合型選抜は自己推薦で志願することができます。また現役生だけではなく、高等学校等を既に卒業した人も志願することができます。

総合型選抜では書類選考や面接、実技を通して、関心の深さ、意欲の強さ、志望学科への適性等の点から、多面的に、より人物本位の選抜がなされます。また従来型の筆記試験では測り得なかった点、すなわち本学都市科学部を志望する理由、入学後何がやりたいのか、そのためにどんなことを準備してきたのか等が問われます。

まずは、あなたが志望する学科の「選抜のポリシー」を読んでみてください。そしてそのポリシーに自分があてはまると思ったなら、是非チャレンジしてください。

2. 募集学科、募集人員

学 部	学 科	募集人員
都市科学部	都市社会共生学科	26名
	建築学科	7名
	都市基盤学科	10名
	環境リスク共生学科	10名

[注] 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

3. 出願資格及び要件

【基礎資格】

次の（１）～（４）のいずれかに該当する者

- （１） 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和7年（2025年）3月までに卒業見込みの者
- （２） 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年（2025年）3月までに修了見込みの者
- （３） 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同程度以上の学力があると認められる者及び令和7年（2025年）3月31日までにこれらに該当する見込みの者

これらに該当する者とは、次のとおり

- ア. 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 7 年（2025 年）3 月修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 7 年（2025 年）3 月修了見込みの者
 - ウ. 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 7 年（2025 年）3 月修了見込みの者
 - エ. 文部科学大臣の指定した者
 - オ. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和 7 年（2025 年）3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 7 年（2025 年）3 月 31 日までに 18 歳に達する者
- (4) 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達した者及び令和 7 年（2025 年）3 月 31 日までに 18 歳に達する者

[注 1] 『【基礎資格】(4)』により出願する者は 25 ページを参照すること

[注 2] 本学都市科学部の帰国生徒選抜との併願は認めません。

【要件】

志望する学科が定める要件をすべて満たす者

(1) 都市社会共生学科志願者

- ① 合格した場合には入学の確約ができる者
- ② 令和 7 年度大学入学共通テストにおいて学科の指定する教科・科目のすべてを受験する者

(2) 建築学科志願者

- ① 合格した場合には入学の確約ができる者
- ② 高等学校若しくは中等教育学校等で数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cのすべて（旧課程履修者は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bのすべて）を履修した者及び履修見込みの者

* 数学科目の履修要件を満たすことを確認するための書類提出が必要です。詳細は 8 ページ「★」を参照すること

(3) 都市基盤学科志願者

- ① 合格した場合には入学の確約ができる者
- ② 高等学校若しくは中等教育学校等で数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cのすべて（旧課程履修者は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bのすべて）を履修した者及び履修見込みの者

- ③ 令和 7 年度大学入学共通テストにおいて学科の指定する教科・科目のすべてを受験する者
- * 数学科目の履修要件を満たすことを確認するための書類提出が必要です。詳細は 8 ページ「★」を参照すること

(4) 環境リスク共生学科志願者

- ① 合格した場合には入学の確約ができる者
- ② 令和 7 年度大学入学共通テストにおいて学科の指定する教科・科目のすべてを受験する者

★建築学科及び都市基盤学科志願者の出願要件（数学の履修内容）の確認について

建築学科及び都市基盤学科で指定している科目の履修状況を確認するために、次に示す書類を出願時または事前に提出する必要があります。

【1】日本の高等学校若しくは中等教育学校、専修学校（高等課程）、高等専門学校出身者

- ① 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C（旧課程履修者は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B）の科目名で履修した者及び履修見込の者

＜提出書類＞

卒業見込者・・・調査書、（本学指定様式の）履修見込証明書

既卒者・・・調査書

- ② 理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論の科目名で履修した者及び履修見込の者

＜提出書類＞

卒業見込者・・・調査書、（本学指定様式の）履修見込証明書

*履修見込証明書の＜特記事項＞欄に、それぞれどの科目に相当するかを記入してください。

例：理数数学Ⅰ→数学Ⅰ、数学Ⅱ、・・・に相当。

既卒者・・・調査書、

学校等で発行する科目の対応がわかる書類（様式任意）※¹または

学校等で発行するシラバス等の書類 ※¹ または

学校長が発行する履修証明書（様式任意）※²

- ③ ②以外の学校独自の科目名で履修した者及び履修見込の者

＜提出書類＞

卒業見込者・・・調査書、（本学指定様式の）履修見込証明書

*②の記入例を参考に、履修見込証明書の＜特記事項＞欄に、それぞれどの科目に相当するかを記入してください。

既卒者・・・調査書、学校長が発行する履修証明書（様式任意）※²

※1 科目の対応がわかる書類（様式任意）またはシラバス等の書類を提出する場合

該当する科目について履修内容の事前確認をします。出願前（出願期間開始日の1週間前までに必着）に理工学系都市系支援課都市科学部学務係（連絡先は本募集要項最終ページ）へ照会してください。

事前の照会もなく出願した場合、履修要件の確認が出来ないために、出願を受理しないことがありますので注意してください。

※2 学校長が発行する履修証明書（様式任意）

新課程における数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cに相当する科目と同等の内容を履修したことを証明する内容であること。出願時に提出してください。

【2】上記以外の者

数学科目の修得状況について事前確認をします。出願期間開始日の2週間前までに理工学系都

市系支援課都市科学部学務係（連絡先は本募集要項最終ページ）へ照会してください。なお、確認のために成績証明書・調査書等（科目を修得したことを証明する書類）や学校等で発行するシラバス（修得した科目の履修内容が記載されたもの）等の書類の提出を求め場合がありますので、事前に準備してください。なお、予備校、学習塾での数学科目の学習経験は要件を満たすこととして認めておりません。

事前の照会もなく出願した場合、履修要件の確認が出来ないために、出願を受理しないことがありますので注意してください。

また、学校等で指定の数学科目を履修していない場合、数学検定・その他資格により履修要件を確認することができます。

・数学検定で要件の確認をする場合、出願時に「準1級以上の合格証明書」を提出してください。

・数学検定以外の資格で要件の確認を希望する場合は、出願前（出願期間開始日の1週間前までに必着）に理工学系都市系支援課都市科学部学務係（連絡先は本募集要項最終ページ）へ照会してください。

4. 出願手続

(1) 出願期間

令和6年(2024年)9月12日(木)から令和6年(2024年)9月19日(木)まで必着

[注] 上記出願期間内に必着するように郵便局の窓口から発送してください。ただし、締切日〔9月19日(木)〕を過ぎて到着した出願書類のうち、【9月18日(水)の発信局消印のある書留速達郵便】に限り受理します。

(2) 出願方法

出願書類を取り揃え、角形2号(24 cm×33 cm)以上の封筒に入れ、表に本学所定の<A. 出願書類等送付用ラベル>を貼付し、郵便局の窓口から書留速達で郵送してください（出願方法は郵送に限ります）。

(3) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等で本学所定の様式で作成・提出する必要があるものについては、本学ウェブサイトより様式をダウンロードし、各自印刷して使用してください。

本学所定の様式の印刷は、全て「A4サイズ」の「白色の用紙」に「片面カラー印刷」としてください。これ以外の方法で印刷したものは、一切受け付けません。

本学所定の様式掲載 URL : <https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/essential/index.html>

5. 入学検定料

(1) 入学検定料の払込、提出について

① 払込金額 17,000円

② 払込期間 出願期間1ヶ月前から払い込みができます。出願期間に間に合うように払い込んでください。

③ 払込場所 以下のコンビニエンスストア

【セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート】

④ 払込方法

ア. 店内にある情報端末機を操作の上、必ずレジにてお支払いください。

イ. 情報端末機の操作手順は、27ページの「入学検定料 コンビニ支払方法のご案内」を参照してください。

ウ. 払込時に別途必要な払込手数料は志願者本人の負担となります。

⑤ 提出方法

セブン-イレブン、ローソン、ミニストップで払い込みいただいた場合は「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、本学部所定の出願書類「入学検定料収納証明書等貼付用紙」に貼り付けて提出してください。ファミリーマートで払い込みいただいた場合はレシート（受領書）を出願書類に貼り付けて提出してください。レシート（受領書）の原本は予めコピーを取り、コピーを手元に保管してください。

[注] 入学検定料が払い込まれていない場合や、払い込み済みの「収納証明書等」が所定の添付用紙欄に貼り付けられていない場合は、出願を受理出来ません。

(2) 入学検定料の返還について

払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

① 入学検定料の返還請求ができるもの

- ア. 入学検定料を払い込んだが横浜国立大学都市科学部総合型選抜に出願しなかった場合
- イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ウ. 出願書類等の不備により出願が受理されなかった場合
- エ. 第1次選抜（建築学科を除く）で不合格になった場合

② 返還する検定料の金額

志願者の申し出により前記「①ア、イ、ウ」については 17,000 円を、「①エ」については 13,000 円を返還します。

(注) 日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料は志願者負担となります。

③ 返還請求の方法

<前記「①ア、イ」に該当する場合>

理工学系都市系支援課都市科学部学務係（連絡先は本募集要項最終ページ）に連絡してください。連絡があった後に「検定料返還請求書」をお送りしますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

<前記「①ウ」に該当する場合>

出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

<前記「①エ」に該当する場合>

第1次選抜結果通知の際に該当者に通知をします。

6. 出願書類等

提出書類等	摘 要
(1) 志願票	<p>本学所定の用紙に必要事項を記入してください。</p>
(2) 受験票・写真票	<p>本学所定の用紙に必要事項を記入し、受験票・写真票の所定欄に写真を貼り付けてください。</p> <p>写真は、縦4 cm×横3 cmで出願前3ヶ月以内に撮影した上半身無帽・正面向きで同一の写真を使用してください。</p>
(3) 調査書等	<p>ア. 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業した者及び令和7年（2025年）3月までに卒業見込みの者は、出身学校長が作成し厳封したものの調査書は出願時まで発行できる範囲のものを提出してください。出願後に調査書の内容に更新があった場合、再提出は不要です。</p> <p><u>外国の学校より日本の高等学校等に編入学をした者は、在籍した外国学校（高等学校相当）の成績証明書も併せて提出してください。</u></p> <p>イ. 外国において学校教育における12年の課程を修了（見込みを含む）した者は、修了（見込）証明書〔資格（取得見込）証明書〕及び成績証明書</p> <p><u>ただし、日本の高等学校等に在籍した期間がある場合は、日本の出身学校長の作成した調査書も併せて提出してください。</u></p> <p>ウ. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書、高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者は、合格見込成績証明書</p> <p>なお、試験免除科目がある場合は、免除要件に係る証明書類（高等学校等の調査書又は成績証明書、各種技能検定合格証明書等）を併せて提出してください。</p> <p>エ. 上記いずれにも該当しない者は、修了（見込）証明書〔資格（取得見込）証明書〕及び成績証明書</p>
(4) 自己推薦書 ※該当者のみ提出	<p>建築学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科志願者は本学所定の用紙に必要事項を記入してください。自己推薦書の作成要領は、志望する学科ごとに異なりますので、17～21 ページの各学科の選抜方法を参照してください。</p>
(5) 特色活動説明書 ※該当者のみ提出	<p>都市社会共生学科志願者は、本学所定の用紙に必要事項を記入してください。特色活動説明書の作成要領は、14 ページを参照してください。</p>
(6) 学習計画書 ※該当者のみ提出	<p>都市社会共生学科志願者は、本学所定の用紙に必要事項を記入してください。学習計画書の作成要領は、14 ページを参照してください。</p>

<p>(7) 履修見込証明書 ※該当者のみ提出</p>	<p>建築学科及び都市基盤学科志願者のうち、日本の高等学校若しくは中等教育学校等を令和7年(2025年)3月までに卒業見込みの者は学校長名または担当教諭名の証明書(本学様式)を提出してください。</p>
<p>(8) 入学検定料 注:本学では、災害等で被災した受験生の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は https://www.ynu.ac.jp/exam/index.htmlを確認してください。</p>	<p>払込金額 17,000 円 「収納証明書」等を貼付用紙の貼付欄に貼付して出願書類と同封してください。 (※払込の方法については、9 ページ「5. 入学検定料」を参照してください。)</p>
<p>(9) 返信用封筒</p>	<p>長形3号(縦23.5cm×横12cm)の封筒を下記の枚数用意し、本募集要項に添付している<B. 受験票等送付用ラベル①～③>に郵便番号・住所(日本国内に限る)・氏名を明記した上で、封筒の表面に貼付してください。3枚のラベルのうち、ラベル①・②には410円分の切手を重ねずに貼付してください。<u>ラベル③には切手は貼らないでください。</u></p> <p>※【建築学科志願者】 ……2通(ラベル①・②を貼付)</p> <p>※【都市社会共生学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科志願者】 ……3通(ラベル①～③を貼付)</p>
<p>(10) C. 入学手続書類等 送付用ラベル①②</p>	<p>本学所定の様式をダウンロードして印刷し、住所・氏名を明記してください。合格通知及び入学手続書類等の送付に使用します。 (封筒には貼付せず、ラベルのみ提出してください)</p>
<p>(11) 入学資格認定証明書 ※該当者のみ提出</p>	<p>6 ページ「3. 出願資格【基礎資格】(4)」により出願する場合は提出してください。</p>
<p>(12) 令和7年度大学入学共通テスト成績請求票 ※該当者のみ必要</p>	<p>都市社会共生学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科志願者の第2次選抜合格者は、令和7年度大学入学共通テスト成績請求票の「<u>総合</u>国公立総合型選抜用」が必要となりますので、<u>提出の指示があるまでは大切に保管してください。</u></p>

[注1] 外国の学校又は機関が発行した英語以外の外国文の書類については、その和訳文を作成し、これに日本国在外公館の証明(翻訳者の署名証明)又は我が国の公証人の公証(翻訳者の署名認証)を受け、併せて提出してください。

[注2] 指導要録の保存期間の経過、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書に加えて、成績証明書又は単位修得証明書等を調査書に代えて提出してください。これらの証明書等が提出できない場合は、卒業証明書に加えて、学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。

7. 選抜日程及び試験場

(1) 第1次選抜

<建築学科以外>

出願書類による書類選抜を行います。

<建築学科>

出願書類による書類審査に加え、実技試験を行います。

①実技試験日：令和6年（2024年）10月12日（土）

②試験時間：（午前）9時30分から11時30分、（午後）13時00分から15時30分

③試験場：横浜国立大学（横浜市保土ヶ谷区常盤台）

※試験当日の詳細（集合時間・集合場所等）については、受験票を郵送する際に通知します。

(2) 第2次選抜

<全学科>

①試験日：令和6年（2024年）11月16日（土）

②試験場：横浜国立大学（横浜市保土ヶ谷区常盤台）

※試験当日の詳細（集合時間・集合場所等）については、第1次選抜合格者に対して通知します。

※なお、試験内容に関する問い合わせには、一切お答えできません。

8. 合格者発表

(1) 第1次選抜合格者発表

令和6年（2024年）10月23日（水）12時頃、本学ウェブサイトにも合格者受験番号を掲載するとともに、志願者全員に郵便にて合否を通知します。

(2) 第2次選抜合格者発表

都市社会共生学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科については令和6年（2024年）11月27日（水）12時頃、本学ウェブサイトにも合格者受験番号を掲載するとともに、第2次選抜合格者のみに郵便にて合格を通知します。

都市社会共生学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科は、第2次選抜合格者の中から令和7年度大学入学共通テストの成績を考慮して、最終合格者を決定します。その際、「令和7年度大学入学共通テスト成績請求票^{総合}国公立総合型選抜用」が必要となりますので、指示に従って指定した期日までに提出してください。

なお、提出がない場合及び指定した科目を受験しなかった場合は、合否の対象となりません。

(3) 最終合格者発表

建築学科については令和6年（2024年）11月27日（水）12時頃、都市社会共生学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科については令和7年（2025年）2月12日（水）12時頃、本学ウェブサイトにも合格者受験番号を掲載するとともに、最終合格者のみへ合格通知書と入学手続書類を郵送します。

※合格者発表用ウェブサイト (<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>)

※ウェブサイトでの掲載期間は、各合格者発表日から概ね4日間程度とします。

※電話による合否の問い合わせには一切応じません。

※入試問題（面接を除く）の正解・解答例または出題意図を、本学ウェブサイトにも合格者発表後概ね14日間程度開示します。(<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/public/index.html>)

9. 入学者選抜方法及び選抜のポリシー

都市 社会 共生 学科	選抜のポリシー
	<p>グローバルな感覚・感性を持ち、物質文明・産業社会を超えた都市やコミュニティの新しい「共生」の問題を考察し、積極的に行動できる人材を求めます。</p>
	選抜方法
	<p>【第1次選抜】 書類選抜とします。以下の書類により、都市社会共生学科への熱意と適性の評価を行います。</p> <p>(1) 特色活動説明書及び学習計画書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色活動説明書（本学様式） これまで自分がおこなってきた特色ある活動について、その内容と意義や魅力を、600字程度で具体的に説明してください。文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。 ・学習計画書（本学様式） 以下の点について、600字程度で記述してください。 <ul style="list-style-type: none"> ① 都市・社会・文化の領域で特に関心を持っていることは何か ② その関心を大学でどのように深め、社会や世界でどのように活かしていきたいか 文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。 <p>(2) 調査書等 都市社会共生学科への適性を判断するために使用します。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、文章実技+面接試験による選抜を行います。文化的・社会的現象に関するテーマについての基本的な理解、論理的思考力及び表現力を問う内容で行います。 ※文章実技では、文化的・社会的現象に関する600字程度の作文を当日に課し、口頭試問では志望動機や学習計画と合わせて作文内容についても質疑を行います。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テストの教科・科目を課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの結果により、最終合格者を決定します。なお、選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>

(1) 大学入学共通テストの教科・科目

国語	「国語」	
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」	} から1
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	から1
数学	「数学Ⅰ、数学A」	
	(a)「数学Ⅱ、数学B、数学C」	} (a)～(d)のいずれか
理科	(b)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2	
	(c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	
情報	(d)「情報Ⅰ」	
		(a)の場合 [4教科5科目]
		(b)(c)(d)の場合 [5教科5科目]

【旧教育課程経過措置(令和7年度のみ)】

平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程を履修していない旧教育課程履修者(令和4年4月に入学し、令和7年3月卒業見込者以外の者)は、大学入学共通テストにおける以下の経過措置科目を選択することができます。

国語	「国語」	
地理歴史	「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」	} から1
公民	「旧倫理、旧政治・経済」	
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	から1
数学	「旧数学Ⅰ・旧数学A」	
	(a)「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1	} (a)～(d)の いずれか
理科	(b)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2	
	(c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	
情報	(d)「旧情報」	
		(a)の場合 [4教科5科目]
		(b)(c)(d)の場合 [5教科5科目]

注1:「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。

注2:「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。

注3:「国語」、「地理歴史」・「公民」、「外国語」、「数学(「数学Ⅰ、数学A」)」の得点に加え、「数学(「数学Ⅱ、数学B、数学C」)」、「理科」、「情報」の中で受験した科目のうち、最も得点の高い科目の得点を合計して合否判定に用います。「理科」を2科目受験した者は第1解答科目の得点を「理科」の得点とします。旧教育課程経過措置の場合は、「国語」、「地理歴史」・「公民」、「外国語」、「数学(「旧数学Ⅰ・旧数学A」)」の得点に加え、「数学(「旧数学Ⅱ・旧数学B」又は「旧簿記・会計」又は「旧情報関係基礎」)」、「理科」、「情報」の中で受験した科目のうち、最も得点の高い科目の得点を合計して合否判定に用います。「理科」を2科目受験した者は第1解答科目の得点を「理科」の得点とします。

注4:旧教育課程経過措置における「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した

者は該当しません。

注5:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)

(2) 大学入学共通テストの配点

教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	100	—	200	—	700
	—	—	*100	*100	—	*100	
合計	200	100	100 (200)	〈100〉	200	[100]	700

注1:配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

注2:大学入学共通テスト「数学」が2科目採用された場合には()内の配点、「理科」が採用された場合には〈 〉内の配点、「情報」が採用された場合には[]内の配点で計算します。

注3:大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

建 築 学 科	選抜のポリシー
	<p>創造力と独創力をもち、自分の頭脳と手を動かし、思考したことを表現できる能力を持つ人を評価し、人間が誰でも本来持っている、空間に対する感受性を考査します。</p>
	選抜方法
	<p>【第1次選抜】 書類審査及び実技試験とします。 以下により、建築学科への熱意と適性の評価を行います。</p> <p>(1) 自己推薦書（本学様式） 建築学科に対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。</p> <p>(2) 調査書等 建築学科への適性を判断するために使用します。</p> <p>(3) 実技試験 自己推薦書による適性及び能力を判断するために実技試験（造形に関する思考力・表現力の検査）を課します。 建築学科のウェブサイトにて、出題例を公開していますので、参考にしてください。 本学ウェブサイト https://www.ynu-arc.jp/admission/</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、面接試験（口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力の検査）を課します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜時の試験の結果により、最終合格者を決定します。なお、選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>なお、大学入学共通テストは課しません。</p>

都市 基盤 学 科	選抜のポリシー
	<p>美しい国土と安全・安心・快適な都市をつくりたい意思が明確であり、それを実現するエンジニアとして活躍するために必要な理数基礎学力を有することを重視します。</p>
	選抜方法
	<p>【第1次選抜】 書類選抜とします。以下の書類により、都市基盤学科への熱意と適性の評価を行います。</p> <p>(1) 自己推薦書（本学様式） 都市基盤学科に対する熱意を、以下の点についてそれぞれ指定された字数で記述してください。図を入れても結構ですが字数に含みません。文書・図は手書きが条件です。</p> <p>① 都市基盤学科を志望する理由 (自分の能力や実績、社会や技術に対する自分の考えなどとの関係から記述してください。) ……400 字程度</p> <p>② 都市基盤学科を卒業した後の自分の姿 ……200 字程度</p> <p>③ 自分の特徴（良い点、悪い点） ……200 字程度</p> <p>④ いままで勉強以外で力を入れてきたことや得意なことなど ……200 字程度</p> <p>(2) 調査書等 都市基盤学科への適性を判断するために使用します。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、面接試験を課します。面接試験では、志望動機等に関する質疑、物理的・社会的現象を対象とした課題に関するプレゼンテーションとそれに関する質疑（口頭試問による論理的思考力、理解力、表現力の検査）を行います。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テスト教科・科目を課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、最終的な合格者を決定します。なお、選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p>

(1) 大学入学共通テストの教科・科目

国語	「国語」	
地理歴史・公民	(a)「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」から1 (b)「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、から1 (c)「地理総合／歴史総合／公共」から2	} (a)～(c)のいずれか
理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2	
数学	「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」	
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1	
情報	「情報Ⅰ」	
〔6教科・8科目〕又は〔7教科・8科目〕		

【旧教育課程経過措置(令和7年度のみ)】

平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程を履修していない旧教育課程履修者(令和4年4月に入学し、令和7年3月卒業見込者以外の者)は、大学入学共通テストにおける以下の経過措置科目を選択することが出来ます。

国語	「国語」	
地理歴史	「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」	} から1
公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」	
理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2	
数学	「旧数学Ⅰ・旧数学A」と 「旧数学Ⅱ・旧数学B」	
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1	
情報	「旧情報」	
〔6教科・8科目〕		

注1:「地理総合／歴史総合／公共」は2出題範囲で1科目とみなします。

注2:「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。

注3:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)

(2) 大学入学共通テストの配点

(大学入学共通テストの配点)

教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	100	1000

注1: 大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

選抜のポリシー

ヒトの生活や都市、様々な生態系や地球科学に対する幅広い興味を有し、科学的センスに優れている方を求めます。個人あるいは部活動などで研究活動に熱心に取り組んでいる方、学問を極めたという強い意欲を持つ方を歓迎します。

選抜方法

【第1次選抜】

書類選抜とします。以下の書類により、環境リスク共生学科への熱意と適性の評価を行います。

(1) 自己推薦書（本学様式）

環境リスク共生学科に対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。

図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。

(2) 調査書等

環境リスク共生学科への適性を判断するために使用します。

【第2次選抜】

第1次選抜合格者に対して、適性及び能力を判断するために、面接試験を課します。面接試験では、環境学の諸課題に関するプレゼンテーションとそれに基づく質疑（口頭試問による理解力、表現力の検査）、志望動機等に関する質疑を行います。

【最終合格者決定】

第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テストの教科・科目を課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、最終合格者を決定します。なお、選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

(1) 大学入学共通テストの教科・科目

国語	「国語」	
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	} から1又は2
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	
理科	(a)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 (b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2	} 地理歴史・公民から2科目の場合、理科は(a)又は(b) 地理歴史・公民から1科目の場合、理科は(c)
数学	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」	
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1	
情報	「情報Ⅰ」	

「地理歴史」・「公民」から1科目の場合 [6教科8科目]
「地理歴史」・「公民」から2科目の場合 [6教科8科目]
又は [7教科8科目]

【旧教育課程経過措置(令和7年度のみ)】

平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程を履修していない旧教育課程履修者(令和4年4月に入学し、令和7年3月卒業見込者以外の者)は、大学入学共通テストにおける次ページの経過措置科目を選択することができます。

国語	「国語」	
地理歴史・公民	(1)「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」、 「旧倫理、旧政治・経済」から2 (2)「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」、 「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、 「旧倫理、旧政治・経済」から1	} (1)又は(2)
理科	(a)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 (b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2	
数学	「旧数学Ⅰ・旧数学A」と 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1	
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1	
情報	「旧情報」	

「地理歴史」・「公民」から1科目の場合 [6教科8科目]
「地理歴史」・「公民」から2科目の場合 [6教科8科目]
又は [7教科8科目]

- 注1:「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2出題範囲で1科目とみなします。
- 注2:「地理歴史」・「公民」から2科目を受験した者(旧教育課程経過措置の場合は「地理歴史」・「公民」の(1)の場合)で、「理科」の(a)と(b)のどちらも受験した場合は、「理科」の第1解答科目の得点を合否判定に用います。
- 注3:「地理歴史」・「公民」から2科目を受験した者(旧教育課程経過措置の場合は「地理歴史」・「公民」の(1)の場合)で、「理科」の(c)を受験した場合は、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
- 注4:旧教育課程経過措置における「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。
- 注5:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)

(2) 大学入学共通テストの配点

教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100 (200)	200	200 (100)	200	100	1000

- 注1:「地理歴史」・「公民」及び「理科」において、「地理歴史」・「公民」の採用された科目が2科目の場合には、()内の配点で計算します。
- 注2:大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング 100 点満点とリスニング 100 点満点を以下のとおり換算します。
200 点満点 リーディング 100 点×1.6+リスニング 100 点×0.4
なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング 100 点満点を 300 点満点に換算します。

10. 入学手続

合格通知を受けた者は、オンライン手続及び郵送（書留速達）により以下の期間内（必着）に入学手続を行ってください。なお、期間内に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱い、これ以降の入学手続を認めません。

学部名	学科名	入学手続期間
都市科学部	建築学科	令和6年（2024年）11月28日（木）～ 12月5日（木）〔必着〕
	都市社会共生学科 都市基盤学科 環境リスク共生学科	令和7年（2025年）2月13日（木）～ 2月18日（火）〔必着〕

- (1) 合格者には、合格通知書とともに入学手続書類等を郵送します。入学手続の詳細は、同封の「入学手続について」で確認してください。

【入学手続に必要な費用】

入学料 282,000 円〔現行〕

【入学後に必要な費用】

授業料 半期分 267,900 円〔現行〕
(年額) 535,800 円〔現行〕

[注1] 入学料及び授業料は、改定される場合があります。

[注2] 入学手続完了者が特別の事情により入学辞退した場合、入学料は返還できません。

[注3] 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

[注4] 入学料・授業料以外の諸経費として、学生教育研究災害傷害保険料、TOEFL-ITP 受験料（必修英語科目の習熟度別クラス編成および単位認定に利用）、校友会費・同窓会費の納付についての案内等を、入学手続き関係書類に同封してお知らせします。

- (2) 都市社会共生学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科合格者の入学手続には、「大学入学共通テスト受験票」が必要です。
- (3) 総合型選抜による合格者が特別の事情により入学を辞退しようとするときは、令和7年（2025年）2月19日（水）までに、「入学辞退願」（本学所定の用紙に辞退の理由を明記し、本人及び保護者が署名・捺印したもの）を提出し、入学辞退の許可を得ることが必要です。「入学辞退願」の様式は、理工学系都市系支援課都市科学部学務係（連絡先は本募集要項最終ページ）に請求してください。
- (4) 総合型選抜による合格者が入学手続を完了したときは、本学及び他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。また、(3)による入学辞退を許可された場合を除き、出願済みの他の国公立大学・学部を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。
- (5) 入学又は入学辞退のいずれの手続きも行わないままとすることのないように注意してください。

11. 試験当日に欠席した場合及び不合格となった場合に備えて

総合型選抜志願者は、試験当日に欠席した場合および不合格となった場合に備えて、「前期日程」及び「後期日程」の合計2つの大学・学部にも出願することができます。なお、その際は大学入学共通テストの指定教科・科目の受験等、志望する大学・学部の出願要件に留意してください。

12. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談

心身の障がい等により、受験及び修学の上で配慮を必要とする場合は、出願する前に必ず理工学系都市系支援課都市科学部学務係（連絡先は本募集要項最終ページ）に事前に相談してください。

また、出願受付後の不慮の事故などで負傷し、受験及び修学の上で配慮が必要となった場合も、その時点で速やかに申し出てください。なお、下表から判断できない場合については、お尋ねください。

【代表的な事項】

区 分	障 が い の 程 度
視覚障がい	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障がいが高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のも
聴覚障がい	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のも
肢体不自由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のも
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のも
発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのため配慮を必要とするもの

【事前相談の方法及び連絡先】

- (1) 事前相談は、以下の様式例を参考に申請書を作成し、診断書（写）または身体障害者手帳（写）、その他参考資料を添えて申請してください。
- (2) 申請内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。
- (3) 申請・連絡先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6
横浜国立大学理工学系都市系支援課都市科学部学務係
電話番号 045-339-3124、4463

【参考】事前相談申請書様式例

(様式例) A 4 判縦

令和 年 月 日

横浜国立大学長 殿

氏名 (ふりがな)

生年月日

住所〒

電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学部・学科
2. 出願を予定している入試
3. 障がい等の種類・程度
4. 受験上の配慮を希望する事項・内容
5. 修学上の配慮を希望する事項・内容
6. 出身学校在学中にとられていた配慮事項・内容 ※期末試験等についても記入
7. その他

(添付書類) 診断書 (写) または身体障害者手帳 (写)、その他参考資料

13. 注意事項

- (1) 志望できる学科は1つに限ります。出願後の学科の変更は認めません。
- (2) 出願後の書類内容の変更は認めません。
- (3) 出願にあたっては、提出書類に不備のないよう十分に注意してください。出願書類等に不備がある場合は受理しないことがあります。なお、提出された出願書類等は特別な事情がない限り、一切返却しません。
- (4) 以下の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、直ちに受験を中止させ、退場の措置をとり、以後の受験を認めません。また、すでに受験した教科の成績は無効とします。
 - ①カンニングをすること。また、他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。
 - ②試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けていたりすること。
 - ③試験時間中に問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ④試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の電子機器類や定規・辞書等の補助具を使用すること ※使用を許可されたものを除く
- (5) 以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(4)と同じです。
 - ①試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の電子機器類や定規・辞書等の補助具をカバンの中にしماわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。※使用を許可されたものを除く
 - ②試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ③試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。
 - ④その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (6) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合や、試験中の不正行為が判明した場合は、入学後でも入学の許可を取り消すことがあります。また、不正行為の態様によっては、警察に被害届を提出する場合があります。
- (7) 出願の際に登録する氏名はなるべく常用漢字を使用してください。常用漢字以外を使用した場合、コンピュータで表記できないことがあります。その場合、合格通知書および入学許可書には、出願時に登録した氏名と異なる漢字に置き換えることがあります。

- (8) 総合型選抜についての不明な点は、理工学系都市系支援課都市科学部学務係（連絡先は本募集要項最終ページ）に照会してください。

14. 本学における個別の入学資格審査について

6 ページ「3. 出願資格【基礎資格】(4)」により出願しようとする者は、本学への出願前に必ず個別の入学資格審査を申請し、認定を受けている必要があります。

この個別審査を希望する者は、次のいずれかの方法により、入学資格認定申請書（本学所定様式）を入手してください。

- ① 本学所定様式を受け取るための返信用封筒（長形3号。申請者氏名・住所を明記し、94 円分の切手を貼付すること。）を、本学学務・国際戦略部入試課に送付する。
- ② 本学ウェブサイト (<https://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/qualification.html>) から、本学所定様式をダウンロードおよび印刷する。

(1) 審査要件【①～③いずれにも該当することが必要です。】

- ① 専修学校、各種学校その他の教育施設（学校教育法第1条に掲げるものを除く。）において3年以上の学習歴があり、おおむね74単位（2,590単位時間）相当以上【平成11年度以前の入学者にあっては80単位（2,800単位時間）相当以上。単位（単位時間）については、高等学校学習指導要領による。】修得している者又は令和7年（2025年）3月修得見込みの者。
- ② 前号の単位（単位時間）には、おおむね国語（相当する教科を含む。以下の各教科において同じ。）、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の5教科の単位（単位時間）を含んでいること。
- ③ 18歳に達した者又は令和7年（2025年）3月31日までに18歳に達する者。

(2) 提出書類

- ① 入学資格認定申請書（本学所定様式）
- ② 調査書（各教科・科目の学習記録等が含まれているもの。）
又は、最終出身学校等の卒業（見込）証明書及び成績証明書
- ③ 出身学校等のカリキュラム表等、教育課程が確認できる書類
- ④ 返信用封筒（長形3号、申請者宛先を明記し、704円分の切手を貼付）

(3) 申請期間

郵送受付：令和6年（2024年）8月1日（木）～令和6年（2024年）8月21日（水）

【必着。書留速達に限る。】

窓口受付：令和6年（2024年）8月20日（火）・8月21日（水）

8:30～12:45 及び 13:45～17:00

※8月10日（土）～8月19日（月）は大学の休業日です。

(4) 個別の入学資格審査に関する問合せ先・提出先

横浜国立大学 学務・国際戦略部入試課

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8 (TEL: 045-339-3121)

15. 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、以下の目的のために利用します。

- ① 合格者への連絡業務（奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関

- する資料の送付、生協資料の送付) 及び入学手続業務
- ②入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除（留学生を除く）・授業料免除等の福利厚生関係の資料
 - ③入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）
 - ④本学における広報・諸調査・研究（入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・分析を含む）
 - ⑤入学者の個人情報について本学関連団体である校友会及び同窓会の入会手続きに必要な範囲で提供する場合があります。
- 調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。
それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日及び大学入試共通テストの受験番号に限って、合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
 - (3) 上記（1）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。


入学検定料 コンビニ支払方法のご案内

入学検定料をコンビニエンスストアにて払い込む場合は、下記のコンビニ端末を操作の上、レジにてお支払いください。(出願期間 1ヶ月前からお支払いいただけます。)


1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp>
最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON **Loppi** MINISTOP **Loppi**

<https://www.lawson.co.jp>
<https://www.ministop.co.jp>
最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。




TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



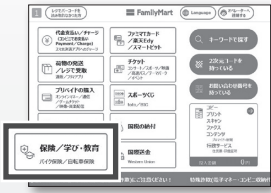
「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い

あなたも、コンビニに、
FamilyMart
マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>
最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**保険／学び・教育**」よりお申込みください。



保険／学び・教育
↓
学び・教育
↓
大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

横浜国立大学

をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi、マルチコピー機)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料(5万円未満)1件につき	税込 495円
-------	-------------------	---------

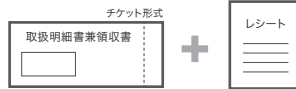
注) 前日日程及び後日日程の両方に出願する場合は、2件分の払込手数料がかかります。

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

(ファミリーマート)

② お支払い後チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**取扱明細書兼領収書**」(Loppi)。

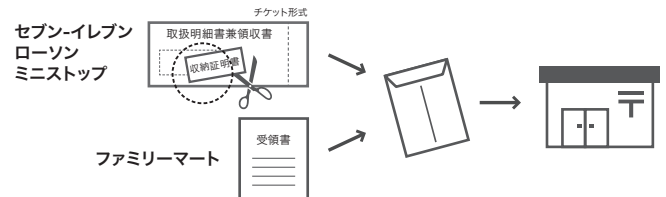


② お支払い後レシート(受領書)をお受け取りください。



「**取扱明細書**」または「**取扱明細書兼領収書**」の場合、「**収納証明書**」部分を切り取り、「**レシート**」の場合、レシートをコピーして本体を入試要項などの指示に従って郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある期は使用しないでください。「**収納証明書**」が黒く変色する恐れがあります。



【入試に関するお問合わせ先】 横浜国立大学 都市科学部(学務係) TEL 045-339-3124

<受付時間>月曜日~金曜日 9:00~17:00(12:45~13:45昼休み) ※祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

交通案内図

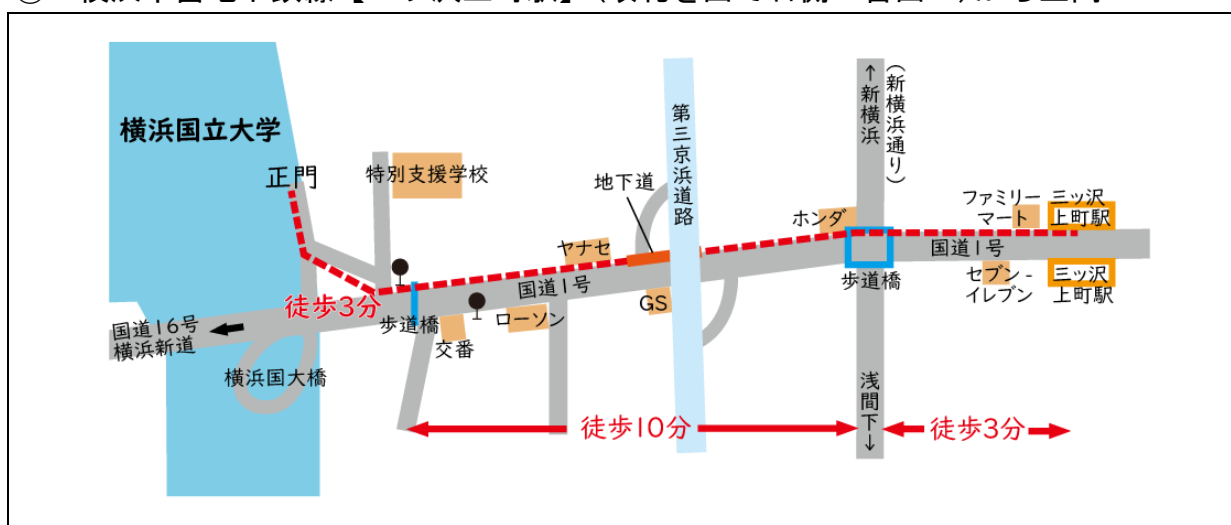
※本学までの経路の詳細は、本学ウェブサイトの「アクセス案内」を参照してください。

<https://www.ynu.ac.jp/access/index.html>

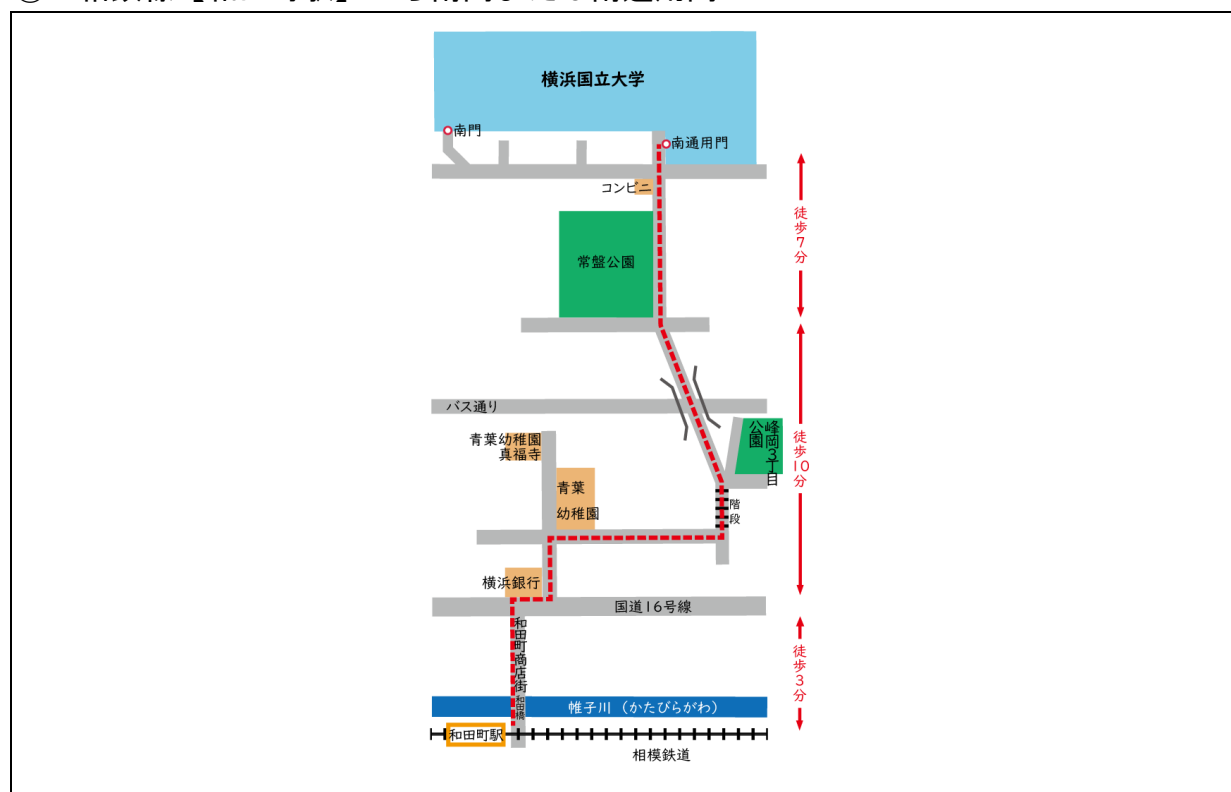
※羽沢横浜国大駅から本学までの経路には、歩道が非常に狭い箇所がありますので、通行には十分注意してください。

※バスは、運行本数や乗車人員に限りがあるほか、渋滞や悪天候の影響を受けやすく、予測した時間どおりに本学へ到着できないことがあるため、試験当日はバスの利用を推奨していません。

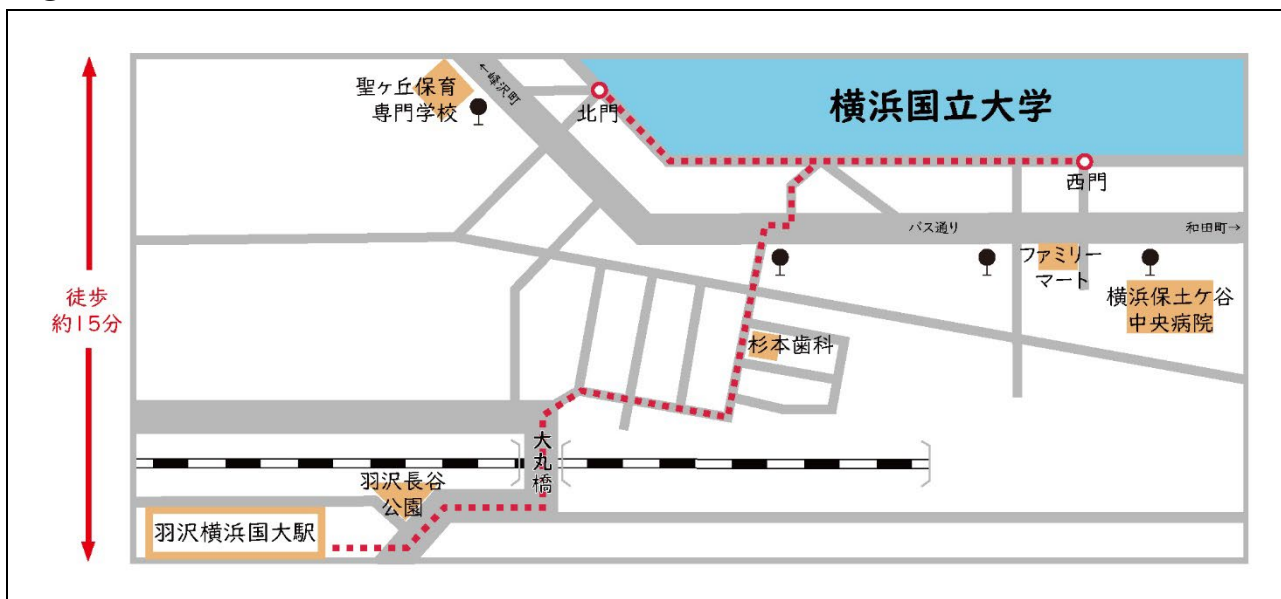
① 横浜市営地下鉄線【三ツ沢上町駅】(改札を出て右側2番出口)から正門へ



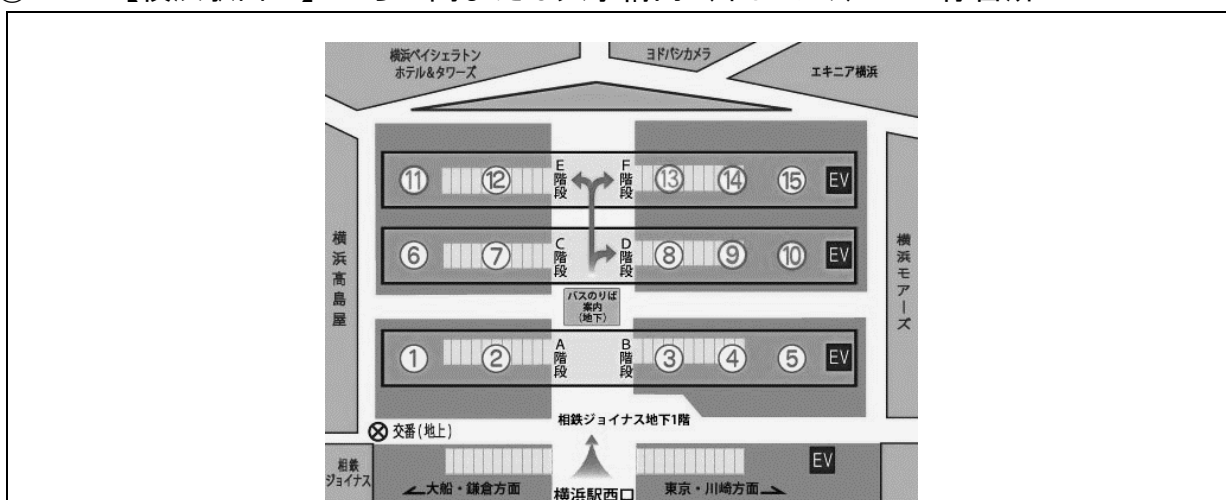
② 相鉄線【和田町駅】から南門または南通用門へ



③相鉄線・JR線【羽沢横浜国大駅】から西門または北門へ



④ バス【横浜駅西口】から正門または大学構内（平日のみ）バス停留所へ



バス会社	乗り場	行き先	【下車停留所】
横浜市営バス	11 番	202 系統「(和田町経由) 横浜駅西口行」	岡沢町
		208 系統「(市民病院経由) 横浜駅西口行」	岡沢町
	14 番	循環内回り 201 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内(注1)
相鉄バス	10 番	急行 329 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内(注1)
	10 番	浜 10 系統「横浜駅西口行」	岡沢町
神奈中バス	13 番	浜 5 系統「交通裁判所経由横浜駅西口行」	岡沢町
		01 系統「中山駅行」	岡沢町

注1 大学構内のバス停留所（横浜国立大学正門前、国大中央、国大北、国大西、大学会館前、国大南門）は、平日のみ利用可能です。

注2 上記のバス案内には、運行本数が少ない路線や土曜日は運行しない路線も含まれます。バスの発車時刻等は、各バス会社のウェブサイト等で確認してください。

キャンパス案内図



※大学構内のバス停は、平日のみ利用可能です。
 ※構内の見学について
 構内は9時～17時までの間に見学できますが、講義棟、研究棟内には入れません。
 また、下記期間は見学できません。

大学入学共通テスト試験日(令和7年1月18日～19日)
 個別学力検査等試験日(前期日程:令和7年2月25日)
 個別学力検査等試験日(後期日程:令和7年3月12日)

【大学構内のバス停について】
 路線バスは、以下の1～7の順序で停車します。(※平日のみの運行)

横浜国立大学正門前
 1 ↓
 国大中央 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7
 国大北 ↓
 国大南門 ↓
 国大西 [折り返し]

学生の住居施設

2025 年春季募集

※出願や合格発表より前に入居申請手続きが必要となる場合があります。
申請期間の詳細は、各寮のウェブサイトを確認するか、各「お問い合わせ先」にご確認ください。

1. 学生寮について

横浜国立大学には、学生生活をサポートする4つの学生寮があります。その中でも、日本人学生と外国人留学生在が共同生活を通して異文化交流を体験できる寮が3つあります。「峰沢国際交流会館」、「常盤台インターナショナルレジデンス」、「大岡インターナショナルレジデンス」です。また外国人留学生のための「留学生会館」があります。常盤台インターナショナルレジデンスと大岡インターナショナルレジデンスは民間会社が管理運営をしています。
なお、記載されている寄送料・共益費の金額は改定する場合があります。

①峰沢国際交流会館

キャンパス至近の寮。東通門から徒歩5分。日本人222名、外国人留学生110名が居住可能。
居住棟：A棟(男子：1・2階62室、女子：3・4階58室)、B棟(男子棟、5階建、140室)、C棟(女子棟、3階建、72室)
共用棟：3階建

居住棟	居室	全室個室、ベッド、机、デスクライト、椅子、ロッカー、エアコン、ユニット型洗面・トイレ、ブラインド、電話端子、テレビ共聴アンテナ端子、インターネット
	共通施設	補食室(流し台、コイン式ガスコンロ、食器棚、瞬間湯沸器、電子レンジ、トースター、冷蔵庫)、コイン式シャワー室、郵便受け、自動販売機(B棟のみ)
共用棟	1階	交流室、男子洗濯室(コイン式)、女子洗濯室(コイン式)、自動販売機
	2階	事務室、ホール
	3階	会議室、ラウンジ、ホール

1. 【日本人学生】

- ① 入居資格：本学の学部・大学院に在学する正規生で経済的状況が本学入居基準を満たす者
*既に本会館に2年間入居した者は除く。
- ② 入居期間：2年以内
- ③ 選考・決定方法：2024年10月または2025年4月入学生および通学所要時間1時間30分以上の者を優先
入居有資格者の応募が入居定員を超える場合は、抽選
入居決定発表は一般入試前期日程及び後期日程の合格発表日
- ④ 入居者の経費負担：電気、水道、ガス等の料金は別途負担

部屋の種類	寄送料(月額)	共益費(月額)	合計
単身室(12㎡)	5,700円	5,130円	10,830円



⑤ 募集要項配付・応募期間

配付：2025年1月上旬予定
・学生支援課ウェブサイトからダウンロード <https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/>
・学生支援課窓口(学生センター2階)配付または郵送請求
受付期間：2025年2月上旬～2月中旬 *出願・合格発表前でも、左記期間内に申請が必要

2. 【外国人留学生】

- ① 入居資格：本学に学部生・大学院生・研究生・特別聴講学生・特別研究学生として在学・在籍する外国人留学生(2025年4月入学予定者含む)
※既に本会館または留学生会館に合計2年間入居した者は除く。
※奨学期間(本学、派遣元機関を含む)から月額10万円を超える給付金を受給する者は応募できません。
- ② 入居期間：1年以内(留学生会館と合算)
ただし、空室がある場合に限り、2年目の入居が許可される場合があります
- ③ 選考・決定方法：応募者多数の場合抽選 ※詳細は外国人留学生用の募集要項をご参照ください。
入居決定発表は2月下旬 ※都合により変更される可能性があります。
- ④ 入居者の経費負担：上記【日本人学生】④と同様

⑤ 募集要項配付・応募期間

配付：2025年1月上旬開始予定

・学生支援課ウェブサイトからダウンロード <https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/>

・学生支援課窓口（学生センター2階）配付

応募期間：2025年1月上旬～2月中旬 *出願・合格発表以前でも、左記期間内に申請が必要



② 留学生会館【外国人留学生】

1981年に開館した外国人留学生専用の寮。通学時間は約1時間、地下鉄「弘明寺」駅・弘明寺商店街まで徒歩3分。横浜市の中心地にもアクセスしやすい。

単身室128室（階によって男女別、混合エリアあり）、夫婦室10室、家族室10室

居住棟	居室	ベッド、机、デスクライト、椅子、ユニットバス・トイレ、エアコン、カーテン、台所、インターネット
	共用部分	談話室、会議室、和室、学習室、図書室、洗濯室、飲み物自販機コーナー、公衆電話
	管理部分	館長・主事室、事務室、管理人室

① 入居資格：本学に学部生・大学院生・研究生・特別聴講学生・特別研究学生として在学・在籍する外国人留学生（2025年4月入学予定者含む）

※既に本会館または峰沢国際交流会館に合計2年間入居した者は除く。

※奨学期間（本学、派遣元機関を含む）から月額10万円を超える給付金を受給する者は、単身室には応募できません。家族帯同の場合、家族室・夫婦室に応募できます。

② 入居期間：（単身室）1年以内（峰沢国際交流会館と合算）

ただし、空室がある場合に限り2年目の入居が許可される場合があります。

（夫婦室・家族室）2年以内（峰沢国際交流会館と合算）

③ 選考・決定方法：応募者多数の場合抽選 ※詳細は外国人留学生用の募集要項をご参照ください。

入居決定発表は2月下旬 ※都合により変更される可能性があります。

④ 入居者の経費負担：電気（全居室）とガス（夫婦室・家族室）は個人で契約してください。

部屋の種類	寄宿料（月額）	共益費（月額）	合計
家族室（42㎡）	11,900円	15,800円	27,700円
夫婦室（33㎡）	9,500円	14,380円	23,880円
単身室（16㎡）	5,900円	9,190円	15,090円



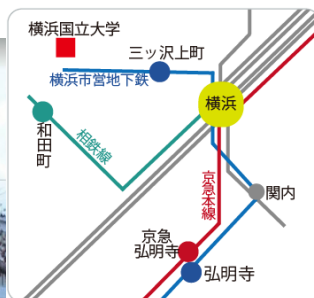
⑤ 募集要項配付・応募期間

配付：2025年1月上旬開始予定

・学生支援課ウェブサイトからダウンロード <https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/>

・学生支援課窓口（学生センター2階）配付

応募期間：2025年1月上旬～2月中旬 *出願・合格発表前でも、左記期間内に申請が必要



③常盤台インターナショナルレジデンス【日本人学生・外国人留学生】

2019年春に開館した常盤台キャンパス内にある新しい学生寮。

部屋のタイプは、共同生活を通じ、多様な文化体験ができるシェアユニットタイプ（学生8人が共同生活）とプライベートタイプ（完全個室）があります。いずれも建物内で男女用エリアに分かれています。

住居	シェアユニット 112戸（8.25～8.84㎡）	【共用部】リビング、キッチン、シャワー、トイレ、洗面台、エアコン、TV、本棚、炊飯器、ダイニングテーブル、チェア、電子レンジ、冷蔵庫、食器棚、電気ケトル 【居室（個室）】ベッド、デスク、イス、冷蔵庫、クローゼット、デスクランプ、エアコン、天井照明
	プライベート 166戸（16.20～16.74㎡）	ミニキッチン、シャワー、トイレ、洗面、エアコン、ベッド、デスク、イス、冷蔵庫、クローゼット、洗濯機置き場（洗濯機は付いていません）、デスクランプ、天井照明
共用部	交流スペース、コインランドリー、駐輪場、バイク置場、防犯カメラ、エレベーター5基	

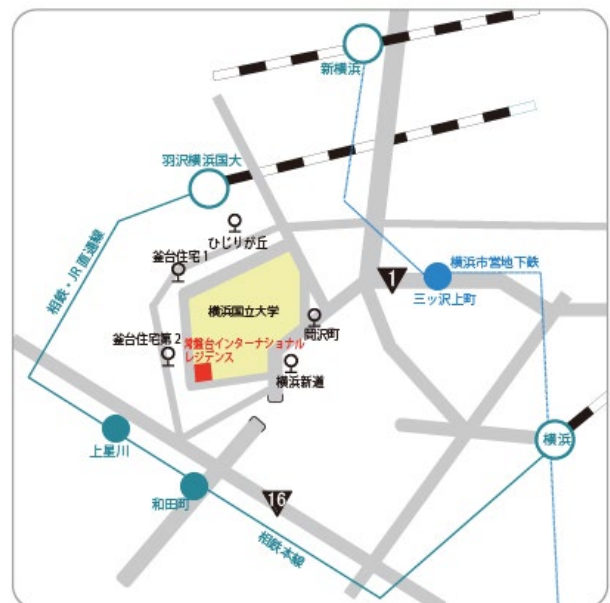
- ① 入居資格：2025年4月に学部・大学院に入学および在籍している日本人学生、外国人留学生
- ② 入居期間：最長で修業年限までの年数内
- ③ 選考・決定方法：2025年2月頃ウェブサイトで発表
- ④ 入居者の負担額

部屋の種類	賃料（月額）	共益費（月額）	水道光熱費（月額） *電気・ガス・水道インターネット代金	入居一時金
シェアユニット	32,500円	6,300円	15,510円（税込）	55,000円（税込）
プライベート	43,500円	6,300円	15,510円（税込）	55,000円（税込）

- ⑤ 募集要項配付・応募期間 2025年2月発表予定
配付：常盤台インターナショナルレジデンスウェブサイト <https://tokiwadai-ir.jp/>



- ⑥ お問い合わせ先 常盤台インターナショナルレジデンス管理事務所
TEL：045-900-1451 Email：tokiwadai@japt.co.jp
〒240-0067 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-9



④大岡インターナショナルレジデンス【日本人学生・外国人留学生】

2010年7月に会館した外国人留学生、日本人学生、外国人研究者、大学教職員が居住する、異文化共生ハウス。大学までの通学時間は約1時間。

建物1階にはコンビニエンスストアが入っており、地下鉄「弘明寺」駅、および弘明寺商店街まで徒歩3分。ワンルームは1~4階が男子用、5・6階が女子用。1Kは1~5階で男女混合となっています。

住居	ワンルーム 252戸 (12.26~12.55㎡)	ベッド、デスク、イス、デスクランプ、クローゼット、トイレ、洗面台、天井照明、エアコン、冷蔵庫など ※キッチン、シャワー、ランドリーは共同になります
	1K室 27戸 (28.63~28.76㎡)	ベッド、デスク、イス、デスクランプ、クローゼット、トイレ、洗面台、天井照明、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、浴室、キッチンなど
共用部	カルチャーホール、各階キッチンラウンジ、各階シャワー・ランドリー室 喫煙所、駐輪場、バイク置場、1F コンビニ、オートロック、防犯カメラ、エレベーター2基など	

- ① 入居資格：2025年4月に学部・大学院に入学および在籍している日本人学生、外国人留学生
- ② 入居期間：最長で修業年限までの年数内
- ③ 選考・決定方法：申込順（地理的状況、収入基準による選考基準無し、定員になり次第応募締切）
- ④ 入居者の負担額 *詳細は2025年2月頃発表

部屋の種類	賃料（月額）	共益費（月額）	入居一時金
ワンルーム	33,000円	11,000円*インターネット代水道代含	55,000円（税込）
1K	60,000円	7,350円*インターネット代含	66,000円（税込）

（ワンルーム）：電気代、コインランドリー・シャワー代は別途負担
（1 K）：電気代、ガス代、水道代は別途負担

- ⑤ 募集要項配付・応募期間 2025年2月発表予定
配付：大岡インターナショナルレジデンスウェブサイト <http://www.int-residence.jp/>
- ⑥ お問い合わせ先 大岡インターナショナルレジデンス管理事務所
TEL：045-712-8870 Email：residence@japt.co.jp
〒232-0061 横浜市南区大岡 2-31-2



2. 下宿・アパート等について

民間の下宿・アパート等を希望している方（学生寮の入居選考から外れた者を含む）のために、横浜国立大学生生活協同組合が学生生活に適した物件を紹介しています。

- ・資料請求・問合せ：横浜国立大学生生活協同組合 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-10
TEL：045-331-5217
ウェブサイト：<https://www.univcoop.jp/ynu/index.html>
<https://sumai.ynu-coop.jp>
（横浜国立大学生協 物件情報検索サイト）



受験番号	※
氏名	

令和7年度（2025年度） 総合型選抜 出願書類等送付内訳書

- 各書類に不備がないことをチェック欄に「○」印を記入して確認してください。
- 提出書類等は、本内訳書を一番上にして、以下(1)～(11)の順に重ねてクリップで留めてください。
出願書類に不備があった場合は受理しないことがあります。

チェック欄	提出書類等	摘要
	(1) 志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
	(2) 受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、受験票・写真票の所定欄に写真を貼り付けてください。 写真は、縦4cm×横3cmで出願前3ヶ月以内に撮影した上半身無帽・正面向きで同一の写真を使用してください。
	(3) 調査書等	ア. 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業した者及び令和7年（2025年）3月までに卒業見込みの者は、出身学校長が作成し厳封したもの 調査書は出願時まで発行できる範囲のものを提出してください。出願後に調査書の内容に更新があった場合、再提出は不要です。 <u>外国の学校より日本の高等学校等に編入学をした者は、在籍した外国学校（高等学校相当）の成績証明書も併せて提出してください。</u> イ. 外国において学校教育における12年の課程を修了（見込みを含む）した者は、修了（見込）証明書〔資格（取得見込）証明書〕及び成績証明書 <u>ただし、日本の高等学校等に在籍した期間がある場合は、日本の出身学校長の作成した調査書も併せて提出してください。</u> ウ. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書、高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者は、合格見込成績証明書 なお、試験免除科目がある場合は、免除要件に係る証明書類（高等学校等の調査書又は成績証明書、各種技能検定合格証明書等）を併せて提出してください。 エ. 上記いずれにも該当しない者は、修了（見込）証明書〔資格（取得見込）証明書〕及び成績証明書
	(4) 自己推薦書 ※ <u>該当者のみ提出</u>	建築学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科志願者 は本学所定の用紙に必要事項を記入してください。自己推薦書の作成要領は、志望する学科ごとに異なりますので、17～21ページの各学科の選抜方法を参照してください。
	(5) 特色活動説明書 ※ <u>該当者のみ提出</u>	都市社会共生学科志願者 は、本学所定の用紙に必要事項を記入してください。特色活動説明書の作成要領は、14ページを参照してください。
	(6) 学習計画書 ※ <u>該当者のみ提出</u>	都市社会共生学科志願者 は、本学所定の用紙に必要事項を記入してください。学習計画書の作成要領は、14ページを参照してください。
	(7) 履修見込証明書 ※ <u>該当者のみ提出</u>	建築学科及び都市基盤学科志願者 のうち、日本の高等学校若しくは中等教育学校等を令和7年（2025年）3月までに卒業見込みの者は学校長名または担当教諭名の証明書（本学様式）を提出してください。
	(8) 入学検定料	払込金額 17,000 円 「収納証明書」を貼付用紙の貼付欄に貼付してください。 ※払込の方法については、9ページ「5. 入学検定料」を参照してください。

チェック欄	提出書類等	摘 要
	(9) 返信用封筒	<p>長形 3 号 (縦 23.5cm×横 12cm) の封筒を下記の枚数用意し、本募集要項に添付している<B. 受験票等送付用ラベル①～③>に郵便番号・住所 (日本国内に限る)・氏名を明記した上で、封筒の表面に貼付してください。3 枚のラベルのうち、ラベル①・②には 410 円分の切手を重ねずに貼付してください。ラベル③には切手は貼らないでください。</p> <p>※【建築学科志願者】 ……2 通 (ラベル①・②を貼付)</p> <p>※【都市社会共生学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科志願者】 ……3 通 (ラベル①～③を貼付)</p>
	(10) C. 入学手続書類等送付用ラベル①②	<p>本学所定の様式をダウンロードして印刷し、住所・氏名を明記してください。合格通知及び入学手続書類等の送付に使用します。(封筒には貼付せず、ラベルのみ提出してください)</p>
	(11) 入学資格認定証明書 ※該当者のみ提出	<p>6 ページ「3. 出願資格及び要件【基礎資格】(4)」により出願する場合は提出してください。</p>
/	(12) 令和 7 年度大学入学共通テスト成績請求票 ※該当者のみ必要	<p>都市社会共生学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科志願者の第 2 次選抜合格者は、令和 7 年度大学入学共通テスト成績請求票の「<u>総合</u>国公立総合型選抜用」が必要となりますので、<u>提出の指示があるまでは大切に保管してください。</u></p>

令和7年度(2025年度)

横浜国立大学都市科学部

志願票

受験番号

※

志望学科

学 科

<履修科目自己申告欄>

建築学科及び都市基盤学科志願者は、以下の該当する方に○を記入してください。

数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(旧課程履修者は数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)を

	チェック欄
履修済み	
履修見込み	

※履修状況を確認する書類の提出が必要です。詳細は8ページを参照してください。

フリガナ				出身学校	高等学校		
氏名				出	上記以外(高卒認定試験合格等)		
生年月日	昭和 平成	年	月	日	性別	男・女	
連	志願者	〒		—	電話	— —	
		住所					
		E-mail : @					
絡	父母等連絡人	氏名			続柄		
		〒	—	電話	— —	携帯電話	— —
		住所					
先		出身学校電話番号				— —	
		出身学校所在地都道府県名					
		学習成績の状況	※				
		概評	※				

記入上の注意

- ※欄は記入しないでください。
- 黒のボールペンを使用し、明確に楷書で記入してください。
- 志望する学科を1つ記入してください。
- 出願後に志望する学科を変更することは出来ません。
- 建築学科及び都市基盤学科志願者は、<履修科目自己申告欄>も記入してください。
- 氏名はなるべく常用漢字を使用してください。常用漢字以外を使用した場合、コンピュータで表記できないことがあります。この場合でも、入学手続き時の申し出により希望する文字を使用することができます。

【「3. 出願資格【基礎資格】(3)ア」(6ページ参照)により出願する者は、次のページも記入、提出してください。】

学歴等記入欄

※「3. 出願資格【基礎資格】(3)ア」(6ページ参照)により出願する者のみ記入、提出してください。

区分	学校名	学校所在国 及び都市名	入学年月	卒業年月	修学 年数	
学 歴	〔初等教育〕 小学校		年 月 入学	年 月 卒業・中退		
			年 月 入学・編入	年 月 卒業・中退		
			年 月 入学・編入	年 月 卒業・中退		
			年 月 入学・編入	年 月 卒業・中退		
	〔中等教育〕 中学校・高等学校			年 月 入学	年 月 卒業・中退	
				年 月 入学・編入	年 月 卒業・中退	
				年 月 入学・編入	年 月 卒業・中退	
				年 月 入学・編入	年 月 卒業・中退	
				年 月 入学・編入	年 月 卒業・中退	
	〔高等教育〕 大学			年 月 入学	年 月 卒業・中退	
				年 月 入学・編入	年 月 卒業・中退	
				年 月 入学・編入	年 月 卒業・中退	
	在学年数の合計					年
	特記事項					
	渡航理由 ※詳細に記入して ください。					

記入上の注意

1. 幼稚園・保育園教育は含まれません。
2. 「飛び級」や「繰上げ卒業」等の事実があれば、特記事項にその旨を記入してください。
3. 入学年月・卒業年月欄では、入学・卒業等該当箇所に○をつけてください。
4. 上欄に書ききれないときは、適当な別紙を添付して記入してください。

記入上の注意

- ・書体は楷書またはローマ字活字、数字は算用数字を使用してください。
- ・志望する学科を1つ記入してください。
- ・受験票と写真票には同一の写真を貼付してください。(写真の裏面には氏名を記入してください)
- ・この用紙は<切り取り線>に沿って切り離し、受験票と写真票は切り離さないで提出してください。
- ・※欄には記入しないでください。

<切り取り線>

<切り取り線>

令和7年度(2025年度)横浜国立大学 都市科学部

総合型選抜

受験票

受験番号	※
志望学部	都市科学部
志望学科	学 科
フリガナ	
氏 名	

令和7年度(2025年度)横浜国立大学 都市科学部

総合型選抜

写真票

受験番号	※
志望学部	都市科学部
志望学科	学 科
フリガナ	
氏 名	

※切り離さないこと

写 真 欄

縦4cm×横3cm

出願前3ヶ月以内に撮影したもの

写 真 欄

縦4cm×横3cm

出願前3ヶ月以内に撮影したもの

令和7年度（2025年度）都市科学部総合型選抜 自己推薦書

受験番号 ※

氏名

※欄は記入しないでください。

Large grid area for writing the self-recommendation letter.

20×20

令和7年度（2025年度）都市科学部総合型選抜 特色活動説明書

受験番号	※
氏名	

※欄は記入しないでください。

令和7年度（2025年度）都市科学部総合型選抜 特色活動説明書

受験番号	※
氏名	

※欄は記入しないでください。

令和7年度（2025年度）都市科学部総合型選抜 学習計画書

受験番号	※
氏名	

※欄は記入しないでください。

<p>Blank writing area with horizontal lines for the student's response.</p>

(建築学科及び都市基盤学科志願者の該当者のみ)

受験番号	※
------	---

※欄は記入しないでください。

履修見込証明書

学校名	
志願者氏名	

上記の者の数学の履修状況について、以下のとおり証明します。

◎該当する欄に“○”を記入してください。

(科目名)	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	数学C
履修済						
履修見込み						

<特記事項> ※数学の履修状況について、特記事項がある場合は記入してください。

--

横浜国立大学長 殿

令和 年 月 日
以上記載のとおり相違ありません。

所属・役職 _____

氏 名 _____ 印

受験番号	※
------	---

入学検定料「収納証明書」等
(入学検定料 17,000 円) 貼付用紙

令和 7 年度 (2025 年度) 横浜国立大学都市科学部総合型選抜

志望学科	フリガナ
	氏 名
<p>「収納証明書」等 貼付欄 (入学検定料 17,000 円)</p> <p>(注)「収納証明書」等の印字内容を必ず確認のうえ 貼り付けてください。</p>	
<ul style="list-style-type: none">○ 必ず 27 ページ「入学検定料 コンビニ支払方法のご案内」で指定されているコンビニエンスストアのレジで払い込んでください。 (ATM 不可)○ 「収納証明書」等の印字内容が読み取れない場合は受理できないので、ご注意ください。○ 支払いを行ったコンビニエンスストアで発行された下記の書類を、左の枠内にしっかり貼り付けてください。<ol style="list-style-type: none">1. 「セブン-イレブン」 「取扱明細書」の「収納証明書」部分 (切り取って貼り付けてください)2. 「ローソン」「ミニストップ」 「取扱明細書兼受領書」の「収納証明書」部分 (切り取って貼り付けてください)3. 「ファミリーマート」 レシート (受領書) (コピーして原本を貼り付けて提出し、コピーは手元に保管してください)	

※欄には記入しないでください。

[切手貼付欄]

速達

〒240-8501

神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6
横浜国立大学 理工学系都市系支援課
都市科学部学務係 行

総合型選抜

入学志願書類等在中

書留

書留引受番号貼付欄

差出人	志望学部	都市科学部	学科
	住所	〒 - 電話番号 () -	
	氏名	フリガナ	

<A. 出願書類等送付用ラベル>

[切手貼付欄]

410 円分の
切手を貼付

速達

〒 -
(住所)

(氏名)

様

切
り
取
り

大学側記入欄	
受験 番号	

入試関係書類在中

差
出
人

〒240-8501
神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6
横浜国立大学 理工学系都市系支援課
都市科学部学務係
TEL : 045-339-3124、4463

<B. 受験票等送付用ラベル①>

— 切 り 取 り —

この様式は A4 サイズの白色用紙に片面カラー印刷をして使用してください。

左のラベルを切り取り、郵便番号・住所・氏名を記入し、410 円分の切手を貼付してください。
このラベルを長形 3 号 (縦 23.5cm×横 12cm) の封筒の表面に貼付してください。

提出後に住所等が変更になった場合は、都市科学部学務係まで速やかに連絡をしてください。

[切手貼付欄]

410 円分の
切手を貼付

速達

〒 -
(住所)

(氏名)

様

切
り
取
り

大学側記入欄	
受験 番号	

入試関係書類在中

差
出
人

〒240-8501
神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6
横浜国立大学 理工学系都市系支援課
都市科学部学務係
TEL : 045-339-3124、4463

<B. 受験票等送付用ラベル②>

— 切 り 取 り —

この様式は A4 サイズの白色用紙に片面カラー印刷をして使用してください。

左のラベルを切り取り、郵便番号・住所・氏名を記入し、410 円分の切手を貼付してください。
このラベルを長形 3 号（縦 23.5cm×横 12cm）の封筒の表面に貼付してください。

提出後に住所等が変更になった場合は、都市科学部学務係まで速やかに連絡をしてください。



速達

〒 -

(住所)

(氏名)

様

大学側記入欄	
受験番号	

入試関係書類在中

差出人 〒240-8501
神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6
横浜国立大学 理工学系都市系支援課
都市科学部学務係
TEL : 045-339-3124、4463

<B. 受験票等送付用ラベル③>
都市社会共生学科・都市基盤学科・環境リスク共生学科用

S

※建築学科志願者はこのラベルは使用しないでください。

この様式は A4 サイズの白色用紙に片面カラー印刷をして使用してください。

左のラベルを切り取り、郵便番号・住所・氏名を記入し、長形3号（縦23.5cm×横12cm）の封筒の表面に貼付してください。
※このラベルには切手は貼らないでください。

切り取り

提出後に住所等が変更になった場合は、都市科学部学務係まで速やかに連絡をしてください。

— 切り取り —



速達

(郵便番号)

〒

--	--	--

 —

--	--	--	--

(住所) *日本国内の住所を記入。

(氏名)

様

大学側記入欄	
受験 番号	

入試関係書類在中

差 出 人	〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6 横浜国立大学 理工学系都市系支援課 都市科学部学務係 TEL : 045-339-3124、4463
-------------	--

<C. 入学手続書類等送付用ラベル①>



速達

(郵便番号)

〒

--	--	--

 -

--	--	--	--

(住所) *日本国内の住所を記入。

(氏名)

様

大学側記入欄	
受験 番号	

入試関係書類在中

差出人	〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6 横浜国立大学 理工学系都市系支援課 都市科学部学務係 TEL : 045-339-3124、4463
-----	--

<C. 入学手続書類等送付用ラベル②>

不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供について

公共交通機関の乱れや自然災害、人為災害、疫病・感染症の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、志願票に記載のメールアドレスへお知らせします。また、横浜国立大学都市科学部公式X (https://x.com/ynu_cus)でもお知らせします。

これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や入学者選抜方法を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがあります。

ChatGPTをはじめとする生成AIの利用について

横浜国立大学では、学生に対して、ChatGPTなどの生成AIに対する注意喚起を行っています。入学試験に関しても、下記の注意事項を踏まえて、必要な提出書類等の作成を行うようお願いします。

なお留学生の皆さんは、下記の他、必要に応じて、各国・地域の方針・法令等も踏まえるようお願いします。

注意事項

生成AIに入力した情報は、AIの学習に利用されたり、意図せず漏洩したりする恐れがあります。また生成AIの出力する情報は、出典が明らかではなく、虚構や、偏った主張、倫理上問題のある表現などが含まれている危険性があります。

出願書類等の作成に当たっては、横浜国立大学の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に考えたものを提出してください。

注意!!

試験日や下見時に、本学周辺（特に岡沢町バス停から正門までの間にある通路・階段など）や最寄駅（和田町，三ツ沢上町，羽沢横浜国大）で本学職員を装って受験者を誘導・整理し、受験番号・住所・氏名・電話番号を記入させた後に「現金」を請求する者がいますが、これらの者と本学とは一切関係がありませんので、被害に遭わないように十分注意してください。

問い合わせ先

横浜国立大学理工学系都市系支援課都市科学部学務係

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6

[窓口取扱時間] 8:30～12:45, 13:45～17:00

土日・祝日・夏季休業日（8月10日～19日）及び年末年始（12月27日～1月5日）を除く。

TEL : 045-339-3124、4463

FAX : 045-339-3321

E-mail : cus.jimu@ynu.ac.jp

※問い合わせは、志願者本人が行うこと。